

こんにちは 牛越です

【第177回】
初夏の訪れ



大町市長
牛越 徹

ようやく初夏の陽気となりました。先月8日から5月臨時市議会が開催され、新たに傳刀健議長、山本みゆき副議長はじめ、常任委員会などの正副委員長と委員が選任されました。理事者側も気持ち新たに市議会との密接な連携の下、円滑な市政の運営に努めてまいります。

さて、4月18日夜に発生した突然の地震では、下から強く突き上げる強い揺れが襲い、震源地となった市内では、八坂・美麻地区で震度5弱を、市役所などでは震度4を観測しました。

市では直ちに非常体制緊急会議を開き、公共施設や道路の被害状況の点検を、また、市消防団では全市の巡視を行い、道路脇の石積みの崩落や建物の壁のひび割れが確認されました。翌日も早朝からの消防団の巡視で、屋根瓦の崩落などが確認され、市建設業組合に要請し応急処置を実施しました。また、市の民生児童委員協議会により高齢者など災害弱者の皆さんの安否確認をしていただきました。

幸い人的被害はありませんでしたが、八坂寛音寺の国の重要文化財千手観音の脇侍、持国天

立像が倒れ大きく損傷しました。その後も余震が続いたため、市長メッセージを発し、揺れがあつた際には落ち着いて行動するよう呼びかけるとともに、今回の対応を検証し、今後の対策に反映することとしました。改めて被害に遭われた皆様に心からお見舞い申し上げますとともに、ご支援いただいた団体の皆様に深く感謝申し上げます。

市では移住定住対策として、平成24年度から、移住の促進と人口流出の抑制に取り組んできました。コロナ禍の令和2年度以降、毎年90人台の移住を受け入れ、令和5年度には初めて100人の大台を超え、さらに昨年度は71世帯、111人となりました。市の人口自体は減少が続いていますが、転出と転入の差、社会動態では59人の転入超過となり、24年度以降で初めて増加に転じました。全国各地での相談件数は500件以上にのぼり、当市への移住の関心の高さを実感しています。こうした流れをしっかりと受け止め、地域の元氣回復のため、いっそう移住定住に取り組んでまいります。